

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	虚血性心疾患における冠動脈プラークの心周期の組織のゆがみと組織性状の検討
当院の研究責任者 (所属)	田中 新一郎 (循環器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当ありません
本研究の目的	心臓に血液をおくる冠動脈に動脈硬化がおこり狭くなり、血液が少なくなると狭心症などの虚血性心疾患といえます。生命にかかわる急性心筋梗塞はこの動脈硬化の一部（冠動脈プラーク）が破綻し、急性閉塞をおこすことにより引き起こされます。冠動脈プラークが破綻する原因として最も知られているのがプラーク内に脂質が大量に含まれている場合です。また、たえず動いている心臓と血圧の変化がプラークに力学的な刺激から、冠動脈プラークが破綻する可能性も指摘されています。虚血性心疾患の治療として最も一般的になっているカテーテル治療の際に行われる血管内超音波検査 (IVUS) はこれらの脂質などの病理的評価と力学的評価が可能です。本研究は、冠動脈プラークの病理学的側面と力学的側面の関連について調査することを目的としております。
調査データ該当期間	2019年10月1日から2021年11月30日までの期間に当院にてカテーテル治療をうけられた方。
研究の方法(使用する 資料等)	カルテ情報から、年齢、性別、合併症、既往歴、現病歴、血液検査、心エコー図検査、安静心筋血流シンチグラフィ検査のほか、心臓の諸検査（心電図、レントゲンなど）結果についての情報を取得し解析します。
試料/情報の他の機関 への提供	該当ありません
個人情報の取扱い	得られた情報はすべて匿名として扱わせていただきます。年齢・性別の公開は可能性としてありますが、個人に不利益や危険性が及ぶことはございません。
本研究の資金源(利益 相反)	利益相反はありません
お問い合わせ先	研究代表者 田中 新一郎 (循環器内科 准教授) TEL 058-253-8001
備考	特記すべきことありません